

片頭痛について

片頭痛は単なる頭痛ではなく、治療が必要な病気です。一般的な鎮痛薬だけで無理に我慢している人も多く、日本では10人に1人が片頭痛に悩んでいます。片頭痛の特徴としくみですが、頭の片側または両側で、心臓の鼓動に合わせて4〜72時間続く痛みが繰り返し現れます。吐き気、嘔吐、光過敏、音過敏などの症状が伴うことが特徴的です。片頭痛の原因は未だ解明されていませんが、カルシウム-シグナル伝達物質（CGRP）などの神経伝達物質が関与しているとされています。

片頭痛の影響は大きく、日常生活に大きな制約をもたらします。さらに、経済的な損失も2兆3000億円と推定されています。片頭痛の影響は及ぼしています。片頭痛の影響は症状以上に大きく、20%の人々が仕事や日常生活での集中力低下を感じています。

頭痛を自覚する本人はつらいにも関わらず、家族や職場での理解を得るのは難しいこともあります。周囲の理解不足が課題となっています。今までは飲み薬による頭痛の予防や、トリプタン製剤という頭痛の始まりに服用する薬による治療が主体でしたが、治療効果が充分でない患者さんが相当数いました。痛み止めを飲みすぎると、薬物乱用頭痛といった薬の飲み過ぎによる頭痛も来してしまいます。2021年からは新たな治療法として、注射治療薬（抗CGRP抗体、抗CGRP受容体抗体）が登場しました。これにより、治療法の選択肢が増えました。従来の治療法に効果がなかった方でも頭痛の回数や頻度が減った方が多くなりました。治療費用は高めですが、これにより仕事や学校を休むことが減った方もいます。

片頭痛は軽視せず、適切な診断と治療が重要です。片頭痛はあなたの生活に大きな影響を及ぼす可能性があります。新しい治療法もあるため、たかが頭痛と考えず、一度担当医を通じて頭痛を診療している脳神経内科や脳神経外科にご相談ください。



市立函館病院

脳神経内科

堀内 一宏 科長

略歴

平成18年、旭川医科大学医学部卒業後、茅ヶ崎徳洲会総合病院、北海道大学病院、帯広厚生病院、釧路労災病院勤務を経て、平成29年から市立函館病院に勤務。平成30年4月、脳神経内科科長に就任。日本神経学会神経内科専門医、日本内科学会総合内科専門医。